

一般社団法人群馬県介護支援専門員協会 第12回理事会議事録

日時：平成31年3月12日（火）19:00～

場所：群馬県社会福祉総合センター ボランティアルーム

出席者：大澤会長、松沢副会長、中沢副会長、安藤理事、菅野理事、高田理事、小沼理事、松本理事、島田理事、高麗理事、関根理事、須田理事、坂井理事、岡島理事、中西理事、新井(か)理事、中島理事（書記）、事務局・新井

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

（1）総務・財政委員会の報告・検討

①会員数

・平成30年2月末日の正会員数1,088名（日本協会会員数 136名）と比較して、平成31年2月末日の正会員数1,053名（日本協会会員数 144名）と35名減
更新研修最終日(2/28)新規入会者2名

②総務財政委員会の報告（3/1）【資料1参照】（松沢副会長・坂井理事・中島理事）

財政が厳しい状況であり、現在と同じような支出をしていると破綻してしまう可能性もある。その為、予算配分として、各支部への支部交付金給付ルールの見直しや各支部の自主活動からの収入獲得など提案。また、収入を増やすための対策として会報に載せる広告数を増やす事、合わせて賛助会員を増やしていくことや研修会費を徴収するような学術研修委員会の研修企画の依頼も提案。また、会員を増やしていく為の対策として、アンケートを実施し、入会のメリット感など課題の洗い出しについて松沢副会長を中心に行っていく予定（会員限定の何か…）。

定款に基づき会員相互の交流を促進してゆくための、企画作成について、アンケート実施後、検討し上程する予定。

入会金・年会費の納入方法の利便性として、カード決裁やコンビニ払いを提案。集金代行業者へ詳細を確認していく方向。

協会の組織図については、各委員会の前にある副会長については、記載を変更する予定。また、選挙管理委員会（特別委員会）の位置づけや支部、支部長会議は独立させるなど再検討する方向。

新年度に向けて支部交付金のルールを見直すのであれば、その事を支部長会議にて説明し同意を得られるように進めていただきたい。松沢副会長が対応する。（小沼理事）

（2）学術研修委員会の報告・検討

①学術研修委員会の報告（2/26）【資料2参照】（菅野理事）

※H31年度研修計画案について

（1）主任介護支援専門員の法定外研修（主任ケアマネ用のスキルアップ研修）

（2）専門研修のフォローアップ研修→もっと対象を限定していく方向。（新人ケアマネ限定等の研修を行い、新人ケアマネに対するフォローアップを行っていくなど、入会後に具体的な新人研修のカリキュラムと一緒に案内をしていく方向。入門講座、初級講座など）講師は未定。

③その他施設ケアマネ研修会については、介護老人保健施設は新井理事、小規模多機能については須田理事、特養（老施協・村上氏）については松沢理事からそれぞれ打診をする。

※研修範囲については、広いエリアで開催されることで参加しやすい状況を作る。具体的には、
1コマ2~3時間（夜を想定）年間4回計画年、県内4会場で開催する方向。

(3) 広報情報委員会の報告・検討 (松本理事)

①会報3月号（114号）について 2/28発送済み

115号の執筆依頼：1面日本協会支部長会議：松沢副会長、2~5面各群馬県支部活動報告予定。

②委員会の報告（3/8）

ケアマネ群馬の発行回数について年間6回→4回に減らしていく方向。市町村や各種団体への発送も活動状況をPRできるため、続けていく方向。広告も依頼があれば掲載してゆく方向。
→賛助会員はメリットがし増しやすいので、どのように案内告知を出していくか検討していく。
フォーラムの際に広告掲載した事業所は賛助会員になってもらい、なってもらっていない事業所や企業には声掛けをしていく方向。
→システム上の入金管理や入稿期日管理はどうするか?
→適切か不適切かなどの一次審査は総務財政委員会で行い、その後理事会で協議してみては…

(4) その他

※「介護支援専門員を対象とした医療介護連携推進研修（仮称）について（2019年度）」について群馬県健康福祉部 地域包括ケア推進室 高橋氏、川田氏より、（がんやがん患者に対する支援の在り方）研修開催にあたり、背景、研修内容（案）など説明あり。具体的な今後の進め方として、研修日程・プログラムの検討、講師などの検討・依頼など協力依頼あり。

→協会として趣旨は賛同。市町村を通じて研修開催については周知していく方向との事であるが、受講希望者が多数であることが想定されるため、プログラム内容（グループワークなど）や会場の選定など、学術研修委員会担当、菅野理事を中心に協議していく方向。

①平成29年度（30年事業）共同募金配分事業完了報告書について 【資料3参照】(岡島理事)
事業経費配分として市民公開講座の收支報告を確認。

支出の工夫により当初予定した予算より下まわっている。昨年12月にはヒヤリングも終わり、来年度も引き続き申請中。

②ケアプラン点検の支援に係るアドバイザー派遣についての報告 【資料4参照】

群馬県健康福祉部悔悟高齢課宛て派遣報告書確認。 (岡島理事・浅沼太田支部長)
来年度も事業継続し、ケアプランの作り方、見方など県内全市町村を対象に展開していくよいとの方向性。

③群馬県災害派遣チーム先遣隊第2回プラッシュアップ研修会報告（3/8） (岡島理事)

研修企画、日常の連携、広報と3つのチーム分けを決める方向。平常時より活動していく方向。
現在、群馬県の災害アセスメントシートを作成中。

④選挙管理委員会について 【資料5参照】 (小沼理事)

東毛については3/13館林より選出。今回は、選挙管理委員会設置のための特別委員会は設けない方向で。

⑤高齢者施策推進協議会の報告(2/14) 【資料 6-1 参照】 (中沢副会長)

第 6 期 (H27~H29) 計画の評価について、第 7 期 (H30~H32) 計画の進捗状況についての説明。介護人材不足により、オープンしたくてもできない施設や入所者を何とか確保している状況の施設がある。今後群馬県内において入所決定までの流れとして指針を改正していく方向。

⑥日本協会支部長会議の報告(2/15) (松沢副会長)

ほぼ報告事項であった。中でも AI を活用したケアプランシステムにおいて 3 社プレゼンテーションがあったが、開発が大分進み商品化を目指している。

⑦ケアマネジメント実務の手引き伝達研修の報告(2/23.24) (須田理事・中島理事)

各専門部会にて主に主任介護支援専門員としての専門性や目指していくべき方向性や取組などの事例を通じてグループワークを行った。今回使用した手引きは、グループワークで出た意見を集約してブラッシュアップしたものを作り改めて 3 月末に仕上げていく方向。

⑧歯科口腔保健推進委員会の報告(3/5) 【資料 6 参照】 (中西理事)

群馬県歯科口腔保健推進計画について今年度改正。冊子の配布や県の HP からダウンロード可能となる方向。県の歯科医師会より県の事業として CM 向けの研修開催について予算などすすめられそうであれば、当協会と協力していきたい意向。

⑨医療介護連携実証事業に係る退院調整状況調査について 【資料 6 参照】 (事務局)

12/26 に 1940 枚回答あり、入力済み。1 枚 100 円。今回初めてであった為、県の方でも再チェックしており、時間を要している状況。年内の振り込みも難しいかもしれないとの事。

⑩高崎市介護保険運営協議会委員の推薦について 【資料 7 参照】 (事務局)

中西理事の継続の方向。

⑪日本協会 代議員選挙及び役員選挙の実施について 【資料 8 参照】 (須田理事)

代議員立候補：群馬県からは須田理事

⑫介護支援専門員研修向上委員会会議の報告 (3/12) (中沢副会長)

平成 30 年度介護支援専門員法定研修実施状況報告書、研修受講成果の評価方法について、また、テキストを使用してみての評価・課題などの協議であった。

⑬平成 31 年度定時総会日程について 【資料 9 参照】 (事務局)

進行票（案）参照し、総会の開始時間と記念講演会の終了時間について調整。

総会開始は予定通り 13:30～、記念講演会終了は 16:00 → 16:30

また、あたご研究所・後藤さんの特別講演会における書籍販売店の件、承諾する。

4 閉　　会

※ 次回理事会 4 月 9 日 (火) 501 会議室